多層型透明導電膜に関する研究

研究概要

可視光を透過し、導電性を持つ透明導電膜



最も頻繁に使用される透明導電膜は(ITO)である

<u>資源枯渇、価格高騰、曲げに弱く</u>フレキシブルデバイスに向かない



ITO薄膜の特性に匹敵する柔軟な透明導電膜



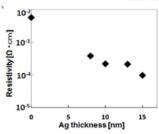
Al doped Zinc Oxide(AZO)に注目

研究目標

Agを用いた多層型の透明導電膜 AZO/Ag/AZO 構造の透明導電膜を作製

ITOよりも高性能な透明導電膜の開発 フレキシブルデバイスの開発

これまでの研究報告



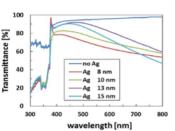


Fig. 1 Resistivity of AZO(35 nm)/Ag/AZO(35 nm) films as a function of Ag layer thickness. (35 nm) films as a function of Ag layer thickness.

Fig.2 Transmittance spectra of AZO(35 nm)/Ag/AZO

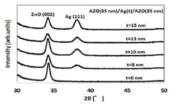
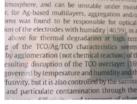


Fig. 3 XRD spectra of the AZO(35nm)/Ag/AZO(35nm) films as a function of Ag layer thickness



左:AZO 右:AZO/Ag/AZO (Ag13nm)

企業メリット

- ・フレキシブルデバイス開発に関する助言
- ・薄膜作成に関する助言

インクジェット法、透明導電膜、薄膜、フレキシブルデバイス

主要な研究テ

- 有機透明導電膜に関する研究
- フレキシブルデバイスに関する研究
- ・科学教育に関する研究

技術相談に応じられる分野

・薄膜作成に関する分野、電子材料に関する分野、フレキシブルデバイスに関する分野

利用可能な装置等

・薄膜製造装置、UV オゾン洗浄改質実験装置、卓上型電子顕微鏡(TM-3030)、分光光度計(U-3900)

所属学科:電子制御工学科 新田 敦司 名 Nitta Atsushi

職 名:教授

FAX:

E-mail:nitta@kagoshima-ct.ac.jp 所属学会:応用物理学会、電子情報通信学会、E-MRS、日本真空学会

研究分野(専門分野): 電子デバイス、電子物性、電子材料